「志操堅固で徳性が高く、敬の心と志を持った人間の育成」　第　7　号

南中だより

令和3年　8月20日発行

南島原市立南有馬中学校　校長

めざす生徒像… 求めて学ぶ生徒・心を高める生徒・たくましい生徒　2021努力目標…チェンジ・チャンス・チャレンジ

今日から「SOCIETY5.0」。タブレット端末が家庭に貸し出します……8／20～8／31

この夏、学校のWi-Fi環境が強化され、活用がスムーズになる見通しがたち、できるだけ早く子どもたちに慣れ親しんでもらい、２学期からはフル活用してほしいという思いをこめて、タブレット端末を一人一人に渡しました。それぞれの端末は、Wi-FiもしくはLTEでインターネットにつながるように設定してあり、これからどんな世界が広がっていくのかとても楽しみです。

なぜこのような端末を一人一人に貸し与えるのかを考えさせてください。10年後・20年後の未来は、よく言われるように、今ある仕事の半分以上がAIにとってかわり、今の政府や私たち教師・保護者をはじめとする大人たちにも想像できない世界になっています。そんな中で新しい価値や仕事を創造して生き抜いていく力が求められています。インターネットをうまく使えると学びの世界は大きく広がります。学校の先生の仕事も大きく変わり、自分が持つ知識を教えていく「ティーチャー（=指導者）」から、生徒が新しい課題を解決していく時に支援する「ファシリテーター（=支援者）」になることが求められてきます。本校の努力目標からすると生徒のチャレンジをサポートするのが仕事になってきます。私たち教師にとってもチャレンジの時代がきたということです。

やがて、日本は人口が減少し、地方の過疎化が進むことは目に見えています。振り返ると、1990年代のジャパン・アズ・ナンバーワンと言われたころから30年たちました。失われた30年とも言われます。未来に目を向けると、2030年ごろから電気自動車が大半を占め、ドローンも飛び交い、みんな電子マネーをつかっていることが予想できます。新しい時代を切り拓く道具としてタブレット端末を使えるようになってほしいと願っています。ネットワークが使えれば地方にいても新しい価値や仕事をつくりだすことができるはずです。少し難しい話をしましたが、生徒たちの10年後・20年後の世界のことです。私からの宿題です。SOCIETY5.0を検索して未来の世界を親子でのぞいてみてください。

家庭での使用に関しては学校でも指導をしますが、保護者におかれましても使用に関する約束=同意書をお子様と一緒によく読まれてください。タブレット端末は、あくまでも学習用端末です。本校からの指導、そして、何よりも家庭でのルールをもとに活用させてください。

昨日から「緊急事態宣言」。コロナウィルスはステージ5に……8／19～9／6

長崎県の中村知事の記者会見があり、長崎県全域に「緊急事態宣言」が出され、コロナウィルスの爆発的感染拡大として県独自の「ステージ５」が宣言されました。その中で県立学校対象としながらも、学校関係に向けて、次のメッセージがありました。

長崎新聞

8月20日

県全域に緊急事態宣言

県独自、ステージ5

爆発的感染拡大

時短要請 2週間延長

長崎県 緊急事態宣言

１　全国大会等（予選を含む）への参加や準備を除き、部活動は中止

※　大会に向けた練習は期間を限定し平日のみ2時間程度

※　全国大会等から帰県する生徒のPCR検査等を検討

２　家庭での感染症対策の徹底を改めて保護者に呼びかけ

※　県外からの来訪者との接触や会食を控える　等

３　感染リスクの高い行事等については、中止や延期を検討

※　児童生徒が密集したり大声を出したりする行事や、身体接触の多い行事

早速、市教委から９月６日まで部活動中止の通知が来ています。教育活動も大幅な見直しをせまられそうで、生徒の学習と生命の保障を考えながら学校運営を進めていきたい考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。